



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2009 - 2010 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーの未来はあなたの手に」
R.I. 会長 John Kenny

2580 地区テーマ 「ロータリーの未来はあなたの手に」
地区ガバナー 多田 宏

クラブテーマ 「感謝の心で行動を」
クラブ会長 小林 雅純

本日の卓話

「障害者雇用について」
埼玉県障害者雇用サポートセンター 企業支援アドバイザー 篠原庸雄様 紹介者 上原洋一君

今後の卓話予定

4/28 「振り込め詐欺」騙すテクニック&騙される心理
浅草警察署 防犯課 阿部様
紹介者 岩戸正一君

5/5 休会



2010年4月21日

第1172回例会

会長 小林 雅純
幹事 古谷 輝彦



前回 (4/14 1171 回例会) の記録

来訪者紹介 (1171 回例会)

◆ゲスト 5名 東京板橋セントラルRC幹事 茂木正光様
小林会長奥様 小林理恵子様・古谷幹事奥様 古谷幸子様
日本語学校研修生 ケンポリン様・ラテャナー様

◆ビジター 3名 東京浅草RC 湧井壮吉様・大川倬司様・三柴直道様

出席報告 (1171 回例会)

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
43名	0名	2名	34名	7名	82.93%	1169回例会修正 欠席 3名・出席率 92.68%

会長報告 <小林会長>

・メコン川水位低下が深刻になる。中国からインドシナ半島を経て南シナ海に注ぐメコン川が、過去20年間で最低のレベルの水位となり、中・下流域のタイ・ラオス・カンボジア・ベトナムなどの国では、水不足が

深刻化、農業・漁業に大きな影響が出ている。中国のダムが水位低下の一因であるとの指摘が相次ぐ中、関連を強く否定し、実態解明にも消極的な中国に対し、不信感が高まっている。(読売新聞3月23日より)

幹事報告 <古谷幹事>

・理事会報告

「審議事項」

1. 海内会計より3月会計報告がなされ承認されました。ニコニコの金額が非常に少なくなっており、今年度は100万円に行かないかもしれないとの報告がなされました。
2. 地区より任意による拉致被害者家族連絡会支援募金依頼があり、一会員100円で合計4,300円寄付することを承認しました。

「報告事項」

1. 東京青年会議所台東区委員会より要請

のあった、わんぱく相撲台東区大会の協賛として2万円支払いました。

2. 伊石親睦委員長より6月26・27日の伊勢神宮研修旅行について報告がありました。
3. 岩戸プログラム委員長より5月26日の夜間例会は卓話の時間を1時間とって欲しいとの要望があり了承されました。

・例会変更の案内が来ております。事務所に確認してください。

・昨日椿山荘においてクラブ協議会が開催されました。出席していただいた次年度役員の皆様には大変御苦勞様でした。

カンボジア日本語学校研修生 ケンポリンさん・・・・・・・・

わたくしはカンボジアの日本語学校研修生です。
きょうは民俗衣裳をご披露いたします。



・・・・・・・・カンボジア日本語学校研修生 ラチャナーさんのスピーチ

第13回カンボジア日本語スピーチコンテスト(スピーチ原稿)

No.1

名前：(日本語) ヘソ ラチャナー (クメール語)
 ឈ្មោះ(ជាភាសាខ្មែរ) : ហេន ឡាចានា ឈ្មោះ(ជាភាសាជប៉ុន) : ヘソ ラチャナー
 題名：日本人とフランス人とカンボジア人

地球は一つですが、日本やフランスは先進国で、カンボジアは発展途上国です。カンボジアは経済も文化も料理もあまり発展していません。本もあまり出版されていないので、本を読む人は少ないです。日本やフランス人のほうがずっと本を読むのが好きで、熱心に勉強したり、働いている人が多い国です。私達のカンボジアも他の国の人に頼るだけではなく自分達のカで早く発展させたいです。

私は祖父のおかげで、高校で習っている英語以外に日本語とフランス語を勉強しています。それで、日本人とフランス人の違いについて少しずつ分かるようになってきました。例えば、日本人は働くのがとても好きで、フランス人は人生を楽しむことが好きのように見えます。どうして私がそう思えるのかという二つの根拠があります。

先一つ目の根拠です。私が勉強しているフランス語学校では毎週のように文化や美術や音楽などに関係するイベントがあります。例えば、絵や写真の展覧会や映画の上映などで、それにフランス料理を無料で教えるイベントもあります。先生はいつも色々な国の結婚式や生活に関係する絵や写真を持って来て、学生に色々詳しく説明します。それで、フランス人はとても文化や美術や料理が好きで、世界中の文化や美術や料理なども積極的に勉強していることが分かりました。一方、日本語学校はそのような活動はそんなにひんぱんにありません。

二つ目の根拠は日本人観光客とフランス人客の違いです。日本人は2泊3日長くて一週間しか旅行しません。一方、フランス人は一か月とか一か月半とか長く休みを取ってゆっくりバカンスを楽しむそうです。旅行中には仕事を一切せず、旅行先から文化や生活を学んでいるそうです。私はこの間フランス人の先生に「先生は日本人についてどう思いますか」と聞きました。先生はちゃんと笑って「日本人は働き過ぎるように見えるね。フランス人みたいに仕事だけではなく、もっと文化やスポーツなどを楽しんだらいいと思うよ」と答えました。

私達カンボジア人はよく日本やフランスは先進国だとひと言にまとめて言っています。

けれども実は同じ先進国と言っても全然違うと思います。日本人は夜遅くまで熱心に働くために、経済がどんどん発展したのでしょ。最新の技術もどんどん生まれています。例えば、新幹線やハイブリッド車世界にほめる電気製品などが作られています。小さな国なのに経済面ではフランスに勝っています。日本ではだれでもよく働いて仕事を探しています。例えば、レストランのウェーターは一人、二人で、料理を作ったり、売ったり、電話に出たり、掃除したりして、いくらかしくても、お客様が来たら、「いらっしゃいませ」とすぐ言うそうです。でもカンボジアのレストランではウェーターばかり何人も店のあちこちいしますが、お客様が来ても何もしません。屋台でお酒を飲んだり、寝てばかりで仕事をしないといっています。そのような人は自分には知識も無いし、店を持つお金もないからそんなになったと言います。でも、だからといってお酒を飲むのはいいことではおほません。それはだめですね。また、日本人は今年が来年のため、どうしたらもっとよくなるのか考えるそうです。

それではカンボジアを発展させるため、日本のやり方だけを見本にすればいいのでしょうか。私はそれは危険かもしれないと思います。こういうことも有るかもしれませんが、日本人は家族と過ごす時間少なくて、ストレスも多くて、心の病気になる人も自殺する人も多いい国のようにです。それに、疲れているように見える人が多く、笑顔が少ない国だそうです。文化とスポーツとかはフランスのほうが発展しているところも多いと思います。パリは芸術の都と言われていて、例えば、サッカーではフランスのほうが強いです。

実はカンボジアは昔からのすぐれた文化とか芸術が残っているんです。ですから、「東洋の芸術の都」として発展させたらとてもいいと思います。私はカンボジア人が日本人とフランス人のいいところを学んで、経済も発展させ、人生も楽しむようになれば、日本よりもフランスよりもいい国になると思います。みなさん、頑張りましょう!

ニコニコボックス

<小林会長、古谷幹事>

- ・本日卓話の板橋セントラルRCの茂木さん、宜しくおほいします。

<藤掛>

- ・茂木さん、本日の卓話よろしくおほいいたします。

<井田、藤野>

- ・茂木正光様、本日の卓話「中学生職場体験と高校生インターシップについて」を楽しみにしております。

<長島、中尾>

- ・カンボジアの日本語弁論大会で優勝したラチャナーさんとポリンちゃんです。よろしくおほいします。

<日本語学校訪問ツアー参加者一同>

- ・カンボジア・シムリアップ日本語学校訪

問ツアーの剰余金をニコニコへ。

<ゴルフ同好会>

- ・3クラブ合同ゴルフ会が無事終了。選手の皆様お疲れ様でした。5月27日予定の当クラブのゴルフ例会は都合で中止。改めて連絡いたします。

<田村>

- ・お誕生日のお祝いをしていただき、ありがとうございました。

<原田>

- ・一昨日・昨日の通夜、告別式には大勢の皆様のご参列を頂き、心より感謝申し上げます。有難うございました。
- ・伊石委員長を始め、親睦活動委員会の皆様には2日間に渡り貴重なお時間を頂戴し、有難うございました。心より御礼申し上げます。

「中学生職場体験と高校生インターシップについて」



東京板橋セントラルロータリークラブ幹事
地区青少年育成委員会委員

茂 木 正 光 様

紹介者 藤掛靖元 君

RID2580 地区青少年育成委員会事業報告

1. RID2580地区青少年育成委員会の趣旨／沿革

- ①2002－2003年度発足
- ②2007－2008年度より現体制にて活動（安部委員長；委員3年任期）
 - ・マニュアル、情報連絡体制、広報の不備、不足

2. 事業報告

～高校生インターンシップ事業と、中学生職場体験事業～

- ①200902 高校訪問
 - ・飛鳥高校／赤羽商業高校
 - ・各高のニーズの違い
 - ・連絡体制／広報の不備。RCだけでなく、高校ごとにばらばら
- ②201001 高校生インターンシップ受入れマニュアルの配布
 - ・マニュアルの説明会（200912）
- ③201002 高校生インターン見学／赤羽商業高校校長の卓話
- ④201002 中学生職場体験事業打ち合わせ
- ⑤201004 中学生職場体験実施状況の把握アンケート配布

3. まとめ（地区青少年育成委員会の役割）

- ①ロータリアンへの広報の必要性
 - ・中学生／高校の現状、職場体験／インターンシップの状況
 - 例会卓話などでの発表機会
 - ・職場体験／インターンシップの実績・効果のまとめ
 - 各校からのレポート収集など
- ②中学校／高校とロータリアンとのマッチングのサポート
- ③そして、受入れ企業の拡大へ（お願い）
 - ・ロータリアンがその職業奉仕、社会奉仕の精神で、次の世代の職業人を育てていく
 - ・ただしもちろんですが、本来の業務の中で、無理せずに